



## あの慰めの言葉

マウ ソクンテア  
MAO SOKUNTHEA

私は一年前にカンボジアから日本に来ました。グループホームで介護士として現在働いています。働き始めたとき、利用者様に何を話して良いのか分からなくて日本語と介護の言葉を覚えられっこないと思って不安でした。しかし、担当者さんと先輩達のお陰で、沢山の教えを頂き、沢山の事を実践させてもらい、少しずつ日本にも仕事にも慣れてきました。

ある日、一人の利用者様が亡くなりました。日本に来て介護の勉強をしている私は初めて死という壁にぶつかりました。自分の家族も亡くしたことがなく、初めて人の死と向き合う事となったので、本当に悲しく落ち込みました。そんな時担当者さんが側に来て「もう悲しまないで。人間の死は苦しい事だけではない、幸せになる事もあるよ。貴方は苦しいけど、亡くなった利用者様はよく頑張ったので、もう苦しくないよ。幸せになった。私達も最後までよくお世話をしました。私達の仕事はその人の人生の最後に関わることが出来る幸せな仕事なのです。苦しい事はない。目の前にいる他の利用者様を見て、皆は貴方の助けを待っているよ」と慰めてくれました。その慰めの言葉で目が覚めて周りを見ると、利用者様と先輩方も皆とても頑張っています。いつも私に優しくしてくれて本当に感動し、前より仕事のやる気が強くなりました。それから、職場は私の家のようにになりました。皆は私の家族のようです。毎日どうやって皆が楽しくなるか、その人がその人らしくい

る事が出来るのか私なりに創意工夫を凝らすようになりました。仕事が楽しくて出勤する日はワクワクし、退屈なんて感じない。逆に、休みに一人で過ごす日は寂しいです。これからも帰国したくないくらい皆と一緒に生活を送りたいです。それは私が日本で自分の夢を見つけたと感じたからだと思いました。その夢とは毎日皆の笑顔を見る事です。つまり、介護の事です。利用者様を幸せにし、疲れを忘れて働けるのは夢のような仕事だと私は思います。私は本当に介護の仕事が大好きになりました。私の気持ちを皆に言葉で伝え切れないので、心から頑張って働きたいと思います。介護の技術がもっと上手くなるため、そして、自分の夢を叶えるため、日本語と介護の能力を伸ばしていきたいと思っています。

誰しも、夢は叶うと信じたいものですが、夢が叶う前に夢を見つける事も大事です。私が夢を見つけたのはやはり、担当者さんの慰めの言葉のお陰です。あの言葉はいつも私の頭に残っています。もし、私が落ち込んでいた時に担当者さんが慰めてくれてなかったら、私は夢を見つけていないかもしれない。だから壁にぶつかった時に前を向く事が出来る慰めはとても大切な言葉だと思います。皆様も、是非人が壁にぶつかった時は慰めてあげてください。皆様の慰めの言葉は誰かの人生を変えられるかもしれません。

## 受賞の喜び



マウ ソクンテア

国 籍 カンボジア  
職 種 介護  
実習実施者 株式会社森津介護サービス  
監理団体 VRB協同組合

優秀賞にご選出頂き有難う御座います。

今回の作文の事は、社長から頂いた「技能実習生の友」の母国語情報誌を読んで知りました。

そこでは前回のコンクールでの表彰式の写真が載っていました。素晴らしいコンクールだと思いJITCOホームページをチェックしました。優秀作品集には、いろんな国の方々が応募されていました。私の祖国であるカンボジアからの応募もありましたが、一人も受賞されていませんでした。それはとても悲しいことです。カンボジア人として日本語作文コンクールに参加したい理由は、私の心に感じている事を、伝えたかったのと、もう一つはカンボジアの事をたくさんの人に知って頂きたいと思ったからです。

前より成長した今の私があるのは、森津介護サービスの皆様のおかげと思っています。心から感謝しています。これからの日本の福祉力になれるために日本語と介護の能力をもって伸ばしたいと思います。そして、日本で学んだ事をカンボジアで広げていきたいと思っています。

## 指導員のこたば

ソクンテアさん優秀賞受賞おめでとうございます。カンボジアから日本に来てもうすぐ2年。たくさんの経験をしていることと思います。作文のテーマにもなった利用者様とお別れについてもよく難しいテーマにも関わらず、自分の感想を上手に文章にまとめることができましたね。そして死という壁にぶつかってもよく乗り切り、現在では他の利用者様方に素敵な笑顔を見せてくれています。あなたは今ではチームに欠かせない大事なスタッフにまで成長しています。この調子で日本語の習得や介護の知識の習得と努力を続けて下さい。一緒にこれからも頑張りましょう。

株式会社森津介護サービス グループホーム森津 施設長 管田 真大